令和４年度第２回理事会議事録

議事録作成者：事務局長　松谷昌典

１　日　時：令和４年７月６日（水）　１９：００～２０：００

２　場　所：公益社団法人日本パワーリフティング協会　本部事務局
〒６７８－０２３９　兵庫県赤穂市加里屋９８－１６

３　出席者（敬称略、順不同）：
【理事】古城資久、三浦重則、髙井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二、菅生桃子
※理事総数：１３名、本日の出席理事１１名
※伊差川浩之、太田勇吉は都合により欠席
【監事】安原　徹
※監事総数：２名、本日の出席監事１名
※辻惠は都合により欠席
【陪席】鈴木　光（アンチ・ドーピング委員長）
二宮正晴（技術委員長）
佐々木陽一（国際副委員長）
松谷昌典（事務局長）

理事の三浦重則、髙井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二、菅生桃子、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

４　開　会
定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

５　議　長　古城資久

６　議　事
第１号議案：競技会備品購入の承認

本年７月１６日至１８日に岩手県北上市で開催されるスポーツマスターズ記念事業に用いる大会器具購入について議場に諮られた。２社の見積もり取得の結果、ザオバ社のスクワットベンチラックが安価であった。審議の結果、ザオバ社のスクワットベンチラックの購入案は、出席理事全員一致で承認された。

第２号議案：コーチ１講習会の開催について

国体監督の要件になっているコーチ１の講習会について、専門科目の講習を令和５年１月２１日（土）至２２日（日）兵庫県明石市において開催することが議場に諮られた。担当する各講師についても内諾を得ており、共通科目の受講方法と合わせてホームページで広報することとなった。審議の結果、コーチ１講習会の開催案は出席理事全員一致で承認された。

第３号議案：利益相反取引の承認について

令和５年１月開催のコーチ１専門科目講習会会場について、会長の経営する「はくほう会医療専門学校明石校」を使用することが提案された。講堂、トレーニング室、講師控室の他、暖房やトレーニング等の附帯施設・設備の一式借用であり、準備を含む３日間の料金提示は３３，０００円（税込）である。周辺の会議室等を借用するより非常に安価であった。審議の結果、利益相反取引の承認については出席理事全員一致で承認された。

第４号議案：オンライン配信機材の購入について

「見るスポーツ」への取り組みに必要な、オンライン配信機材一式の購入が議場に諮られた。発展著しいジャンルであり、機器ごとに性能や取り扱い方法が異なるため、同等品比較が困難であった。シンプルに活用でき、兵庫県協会で導入実績のある「yolobox pro」の提案がなされた。本体と別売のＡＣアダプタ、カメラ、ケーブル、ハブ、保管箱の一式で時価２１～２２万円である。半導体不足もあり一部の別売品が入手しにくく、１１月に行われる兵庫での全日本に間に合うよう手配することとした。審議の結果、購入案は出席理事全員一致で承認された。

第５号議案：ＦＩＳＵ大会について

ＦＩＳＵ大会について、ＩＰＦよりトルコのイスタンブールで開催する通知がなされた。大会要綱を確認したところ、重要事項の記載があり、従前は大学対抗となっていたところ、男女各１６人の合計３２人を選出することに改められていた。学連所属大学に所属し、予選会をクリアした男女３２人を選出する方法へ変更する必要が生じた。国際委員会、技術委員会、学連担当の三浦専務が協議の上、過去の学生大会およびジュニサブジュニア大会の記録より選出する案が議場に諮られた。審議の結果、選出方法について、出席理事全員一致で承認された。

その他議案：

（ア）５０周年記念事業の寄付受付について

５０周年記念事業の寄付を募る件が議場に諮られた。一口５千円程度とし、関係者から広く募ることとした。今後、趣意書の作成を行ない、各都道府県へ案

内することになった。審議の結果、５０周年記念事業の寄付募集は、出席理事全員一致で承認された。

（イ）５０周年記念事業の表彰規程について

被表彰者の基準を定めた規定案が提出された。当日の附議議案であったため、内容の確認期間を設け、書面理事会において承認することが確かめられた。

（ウ）全日本グランプリについて

１１月兵庫県開催の全日本グランプリについて、主管協会から団体戦の導入について意見具申がなされた。団体戦を導入すること特に問題はなく、審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

（エ）事業実施の報告時期について

全日本選手権および国際大会の報告締め切りについて、２週間以内の報告とすること議場に諮られた。審議の結果、２週間以内の報告とすること出席理事全員一致で承認された。

（オ）アンチドーピングの取り組みについて

ＷＡＤＡコードに違反していなくとも、ドーピング疑惑がある人物とＪＰＡの関係者が関係を持つことは、ＪＰＡのアンチドーピング活動に対する誤解が生ずる恐れが懸念される。そのような人物との関係について情報を入手した場合は、接触を避ける旨を記載した「お願い文」を発出することと、ホームページを通して注意喚起をすることで、ＪＰＡのアンチドーピング活動への取り組みについて周知することが議場に諮られた。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

（カ）クラシックマスターズの標準記録について

クラシックマスターズパワー大会の参加人数が増大しており、大会期間が３日にわたることが多くなっている。支える人の費用負担も増大しており、２日開催で完了する人数となるように標準記録をアップすることが提案された。標準記録については拮抗する意見もあり、一度草案を作り、次回の理事会で継続審議することとなった。

報告事項

（ア）５０周年記念事業について

記念誌の編纂状況などの活動報告がなされた。

（イ）国体の評価について

スポーツ協会よりパワーリフティング競技の評価が届き、正式競技成りのための問題点と課題が多数見つかった。今後はこれら課題の解決に向け、別途スポーツ庁ガバナンスコードの準拠と合わせて体制整備する方針が報告された。

（ウ）国体のＰＣＲ検査義務づけについて

本年９月１７日至１９日栃木県芳賀町で開催される国民体育大会パワーリフティング公開競技について、栃木県への入県に際してＰＣＲ検査の陰性証明が義務付けとなった。今後、スポーツ協会の説明会等で詳細を確認し、杉本理事を中心に事務局と共同で準備作業を進めることとなった。

（エ）ガバナンスコード適合検査について
令和５年度に適合性検査を受検する報告がなされた。チェックシートの未達成項目を減らすことを喫緊の課題とすること報告がなされた。安原監事は項目によっては、適合困難な理由の提出を検討するよう助言がなされた。

（オ）齊藤浩元会長の顧問就任について
古城会長からの顧問就任依頼に対し、ご本人がご辞退される回答をされた旨、報告がなされた。

（カ）裁判の進捗について
民事裁判および刑事事件の進捗報告がなされた。

（キ）次回理事会
令和４年９月２２日（木）１９時から予定

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は２１：００に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和４年７月６日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会　　長
（代表理事）　古城資久

監　　事　安原　徹